

令和元年度 聖智学園 事業報告

【令和元年度児童・職員の異動について】

<聖智学園>

1. 令和元年度中の入所児童

年令は入所時

No.	氏名	年令	性別	入所月	入所の主な理由
1			男	4月	
2			女	9月	
3			女	9月	
4			男	3月	
5			男	〃	
6			男	〃	
7			男	〃	
8			女	〃	
9			女	〃	

2. 令和元年度中の退所児童

年令は退所時

No.	氏名	年令	性別	退所月	退所の主な理由
1			男	4月	
2			男	9月	
3			男	10月	
4			男	〃	
5			男	11月	
6			男	2月	
7			男	3月	
8			女	〃	
9			女	〃	
10			女	〃	

3. 在園児童学年別表（定員30名）

区分	幼児	小学校							中学校				高校				計
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	
男	2	1	0	0	1	1	0	3	2	3	4	9	1	1	1	3	17
	3	1	0	2	1	3	0	7	0	2	3	5	0	0	0	0	15
女	1	1	0	1	0	2	3	7	1	0	0	1	1	0	2	3	12
	3	1	1	1	0	3	2	8	1	0	0	1	1	0	0	1	13
計	3	2	0	1	1	3	3	10	3	3	4	10	2	1	3	6	29
	5	2	1	3	1	5	2	15	1	2	3	6	1	0	0	1	28

上段：平成31年4月1日

下段：令和2年3月31日

4. 職員の異動について（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

(1) 採用

No.	氏名	年令	性別	採用年月日	職種	理由
1		22	女	31.04.01	児童指導員	
2		33	女	31.04.01	里親支援 専門相談員	

(2) 退職

No.	氏名	年令	性別	退職年月日	職種	理由
1		33	女	R1.09.30	里親支援 専門相談員	

5. 職員組織

職名		施設長	施設長代理	児童指導員 加算職員	保育士 (非常勤)	事務	調理員	栄養士	他	合計
人員数	H31.4.1	1	1	6 7	2 (1)	1	2	2 (兼調理員)	3	25 (1)
	R2.4.1	1	1	5 7	2 (1)	1	2	2 (兼調理員)	3	24 (1)

【一時保護等の受入】

月日	種類	性別	年齢	児童	管轄	利用理由
4/1-4/25	一時保護委託	男	8		中央	
4/10-9/24	一時保護委託	女	10		中央	
4/10-9/24	一時保護委託	女	8		中央	
9/13-3/26	一時保護委託	男	4		中央	
10/18-3/26	一時保護委託	女	3		中央	
10/18-3/26	一時保護委託	女	2		中央	
10/23-10/31	一時保護委託	男	15		中央	
11/1-11/5	一時保護委託	男	7		中央	
11/1-11/5	一時保護委託	男	15		中央	
1/24-2/5	一時保護委託	男	8		中央	
1/24-2/5	一時保護委託	男	11		中央	
1/24-2/7	一時保護委託	女	13		中央	
2/10-2/25	一時保護委託	女	16		西宮	
2/21-3/13	一時保護委託	男	14		姫路	

<地域小規模児童養護施設>

グループホームまほろば

1. 令和元年度中の入所児童

年令は入所時

No.	氏名	年令	性別	入所月	入所の主な理由
1			男	10月	

2. 令和元年度中の退所児童

年令は退所時

No.	氏名	年令	性別	退所月	退所の主な理由
1			男	3月	
2			男	3月	
3			男	3月	

3. 在園児童学年別表（定員6名）

区分	中学校				高校				計
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	
男	0	0	1	1	1	0	2	3	4
	0	0	1	1	1	0	0	1	2

上段：平成31年4月1日

下段：令和元年3月31日

4. 職員の異動について（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

(1) 採用

No.	氏名	年令	性別	採用年月日	職種	理由
1		22	男	31.04.01	保育士	

(2) 退職

No.	氏名	年令	性別	退職年月日	職種	理由
1		23	男	R2.03.31	児童指導員	

5. 職員組織

職名		施設長	児童指導員	保育士	調理員等	管理宿直	合計
人員数	H31.4.1	1	1	1	0	1	4
	R2.4.1	1	1	2	0	1	5

グループホームあすなろ

1. 令和元年度中の入所児童

年齢は入所時

No.	氏名	年齢	性別	入所月	入所の主な理由
1			男	4月	

2. 令和元年度中の退所児童

年齢は退所時

No.	氏名	年齢	性別	退所月	退所の主な理由
1			男	4月	
2			男	3月	
3			男	3月	
4			男	3月	

3. 在園児童学年別表（定員6名）

区分	中学校				高校				他	計
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	計	
男	0	0	0	0	0	0	3	3	1	4
	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

上段：平成31年4月1日

下段：令和2年3月31日

4. 職員の異動について（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

(1) 採用

No.	氏名	年齢	性別	採用年月日	職種	理由
1	なし					

(2) 退職

No.	氏名	年齢	性別	退職年月日	職種	理由
1		45	女	R2.2.20	児童指導員	

5. 職員組織

職名		施設長	児童指導員	保育士	調理員等	管理宿直	合計
人員数	H31.4.1	1	2	0	0	1	4
	R2.4.1	1	2	0	0	1	4

【令和元年度事業実施状況】

(1) 生活支援機能の推進

<生活面>

1) 自治会

- ・昨年同様、今年度も意見が出しやすい形を採用し細分化を用いた。
本園中高生(男女別)、まほろば、あすなろは必要に応じて実施し、小学生(男女別)は毎月実施した。
- ・年二回(夏休み前と年度末)に、全体で自治会を実施しルールの確認や変更について話し合った。

《来年度の課題》

- ・話し合った内容(目標や反省)の意識付け、強化
- ・全職員との連携、周知の仕方

2) 地域清掃

- ・普段自分たちが使っている公園等を清掃し、地域の一員として地域の美化に協力することを目的とした。また、地域への感謝の気持ちを持つこととともに、地域美化への意欲が育つよう促した。清掃時の班分けは縦割り班にし、異学年の児童が協力し清掃活動に参加した。児童の中には清掃活動に消極的である子もいたため、次年度は児童らが積極的に清掃活動に参加できるように職員側から意欲付けを行っていききたい。

【実施内容 年8回実施】

- ① 6/2 小学生12名、中学生7名、高校生12名、職員6名
清掃場所：園周辺ゴミ拾い、畑の草抜きと水やり、グループホームあすなろ・まほろば周辺ゴミ拾い、園駐車場ゴミ拾い(草抜き)
- ② 7/7 全島一斉清掃 小学生12名、中学生5名、高校生7名、職員6名
清掃場所：園庭草抜き、溝掃除、河川ゴミ拾い
- ③ 8/24 中高男子7名、職員2名
清掃場所：園周辺のゴミ拾い
- ④ 8/25 小学生12名、職員2名
清掃場所：小学校校庭草抜き、ゴミ拾い
- ⑤ 11/2 小学生12名、幼児5名、中学生3名、職員5名
清掃場所：パラナグア公園ゴミ拾い、草抜き
- ⑥ 11/9 全島一斉清掃 幼児1名、小学生12名、中学生6名、高校生7名、職員5名
清掃場所：園庭草抜きゴミ拾い、河川掃除
- ⑦ 11/16 小学生13名、中学生7名、高校生3名、職員8名
清掃場所：園周辺のゴミ拾い
- ⑧ 1/19 小学生12名、中高生6名、高校生4名、職員4名
清掃場所：園庭ゴミ拾い、小学校通学路ゴミ拾い

3) 基本的な生活習慣の確立

- ・身だしなみや衛生習慣など、小学生は自治会で講習会を開き意識付けを行った。中高生は掲示物にて知らせ、必要であれば口頭で伝えていった。

4月：身だしなみ

6月：歯磨き

8月：入浴

10月：手洗い・うがい

12月：大掃除

1月～3月：習慣化できているかの確認

4) 私物整理

- ・毎週日曜日の朝に机周り、タンス、押し入れなどの確認を行った。

<保健衛生面>

1) 成長の記録

- ・3カ月に1回、園内にて身体測定（身長、体重、胸囲）を行った。
- ・学校での検診記録を児童健康診断票に記録・管理し、必要時は通院日程を組む。

2) 衛生習慣の確立

- ・生活指導担当と連携し衛生習慣について子どもたちに講習会を開いた（自治会 etc）。同時に、資料を掲示することで注意喚起し習慣付けを行った。講習会後は、子どもたちも意識している様子が見受けられたが、日が経てば意識は薄れていっており、習慣が付いたとは言い難い。衛生面で特に指導が必要な児童については、日々声を掛けている。

6月：歯磨き

8月：入浴

10月：手洗い・うがい

3) 園内研修

- ・日々の会議を利用し職員を対象に研修を行った。研修時不在職員については、資料を配布し必要に応じて口頭で説明を行った。

5/3 嘔吐処理、てんかん等発作時の対応方法について

7/6 消防署に依頼し、AED使用方法、心肺蘇生法を教わる

11/17 感染症について

11/21 アナフィラキシーショックについて

4) 予防接種

- ・個々の接種歴を書類にて管理し、接種（インフルエンザ予防注射は、職員も接種）

(2) 治療的養育の推進

- ・トラブルや不穏の際など、必要に応じて児童の心理面に焦点をあてた助言を実施
- ・「愛着」をテーマにした職員研修を年一回実施
 内容：愛着形成のメカニズム／愛着が与える影響／愛着に課題を持つ子どもへの対応
 効果：研修の実施により、心理士と指導員が共通認識を持つことができたと思われる。望ましい対応についても共有できたが、個別のケースごとに詳細な解説を行う、共感応答のためのロールプレイを行うなど今後はより具体的な内容の研修の行っていきたい。

(3) 職業指導・リービングケア及びアフターケアの強化

1) リービングケア（食事作り）

日時	場所	食事	メニュー	児童
4月28日	食堂	昼食作り	ホットドック (焼きそば・炒り卵・フルーツ)	全員
5月5日	戸外	夕食作り	BBQ	全員 ボランティア 交流会
6月22日	食堂	おやつ作り	バターサンドクッキー	中高女子
6月30日	食堂	夕食のデザート作り	フルーチェ	クッキングクラブ参加児童
8月3日	男子：食堂 女子：3階 ユニット	昼食作り	三色丼・澄まし汁	全員
8月12日	戸外	夕食作り	BBQ	全員
8月13日	食堂	昼食作り	ハヤシライス・サラダ	全員
8月18日	戸外	昼食作り	流しそうめん	全員
8月22日	食堂	朝食作り	味噌汁 ウインナーソテー	中一男女
8月24日	食堂	夕食作り	けんちん汁の具材切り	クッキングクラブ参加児童
10月25日	地域交流室	福祉祭り	スウィートポテト作り	女子
1月19日	学習室	おやつ作り	ラスク	クッキングクラブ参加児童
2月8日	食堂	昼食作り	たこ焼き	全員
2月12日	食堂	おやつ作り	バレンタインチョコ	高校女子

2) アフターケア

児童	退所年度	年齢	内容
	2015	22	8/29 盆帰省（学園宿泊） 12/29 正月帰省（学園宿泊） 2/10 就職に向け引越しを手伝う
	2016	21	5/10 様子伺い 8/31 学園行事参加 一泊宿泊
	2016	21	4/29 祭参加 6/19 来園。転職の報告を聞く。 8/30 来園。 8/31 学園行事参加
	2017	21	4/29 祭参加 6/5 市社協より連絡。仕事を退職し実家へ 8/12 家庭状況について相談 8/13 関係機関に連絡 11/6 関係機関より本人の状況を聞く 2/25 市社協より連絡
	2018	20	6/15 来園。一泊宿泊 7/20 学園行事参加 8/20 盆帰省、墓参り 11/1 学園宛に荷物が送られてくる 12/3 奨学金書類について電話連絡
	2018	19	8/10 盆帰省。
	2018	19	4～7月 計6回程度 主任より様子伺いの電話 8/25 本人とは繋がらず、父に主任より連絡 9～10月 計7回程度 主任より様子伺いの電話 10/23 近況を受け、センターと情報共有

(4) 学習指導の充実

1) 公文の実施状況

- ・月曜から金曜日の週5回実施。3つの時間帯（16:00～16:30、16:30～17:00、17:00～17:30）に分け、少人数で行った。（居室ごとに行い、月で時間帯をずらす）
- ・ポイント制度の導入…30分以内に採点、直しがある場合は直しが終わればシールがもらえる。

※10ポイントたまると1回公文を休むことができ、ポイントを使わず溜めていくことで、ポイントを使って景品と交換することができる。

- ・月1回公文担当者会議を行い、子どもの状況を把握するとともに、支援方法

(教材、枚数、進度等)を検討した。

- ・ 2～3ヵ月に1回、公文より地区担当の方が来園され勉強会を行った。
- ・ 研修日程
 - 6月19日 公文研修
 - 1月27日 公文式導入フォーラム

2) 学習塾の実施状況

氏名	学習塾名	開始月	受講科目	頻度	時間
(中2男子)		R1.3～	数学	週2	火 19:30～21:00 土 20:30～21:30
受験勉強に向けて取り組む。少しずつではあるが、定期テストでの点数も上がり、成果はみられる。学習塾に行っていることに満足し、学習時間がおろそかになる。					
(中3男子)		H30.5～	英語、数学	週2	月 19:30～21:00 水 16:00～17:30
定期テストでの点数は伸び悩むが、大幅に落ちることはない。学習塾に行っていることに満足してしまい、学習時間もおろそかになっている。志望校に合格。					
(中3男子)		H30.5～	英語、数学、 国語	週3	火 16:30～19:30 木 18:00～19:30
定期テストでの点数は現状維持。学習意欲は向上し、学校での提出物は遅れず出すことができている。志望校に合格。					

3) その他、学習指導での取り組み

小学生

- ・ 下校後、子どもたちの連絡帳、学校からの配布物を確認する。
- ・ 終わった宿題にはチェック(連絡帳に)を入れ、記名をする。(低学年)
- ・ 明日の準備物や時間割等を子どもと一緒に確認する。(低学年)
- ・ 土日祝は、朝の9時から10時に学習時間を設け、学習支援員が用意した自学ノートを利用し自主学習に取り組んでいる。学習内容については、その子に応じた学習内容となっている。

中高生

- ・ 平日の21時から22時に学習時間を設け、宿題や自主学習に取り組む。
(休日には朝の9時から10時にも学習時間を設けている)
- ・ 考査1週間前や受験生は、通常の学習時間に合わせ、19時から20時にも学習時間を設けている。
(休日には朝の9時から10時、13時から15時にも学習時間を設けている)
- ・ 子どもからの要望があれば、子どもの状況を考慮しながら学習塾への通塾を検討する。

(5) 性教育の実施

1) 性教育係による性教育

①7月12日 対象：小学生男子

内容：プライベートパーツの約束、他者との境界線（フラフープ）

②7月16日 対象：中学生男子

内容：プライベートパーツの約束／他者との適切な関わり方（異性・同性・幼児との距離）

③7月17日 対象：小学校低学年女子

内容：体を清潔に保つこと／性器を触っていると周りからどう見られているか／他者との境界線（フラフープ）

④7月18日 対象：小学校高学年女子

内容：体を清潔に保つこと／性器を触っていると周りからどう見られているか／他者との境界線（フラフープ）／生理について

⑤7月13日 対象：上記以外の高学年女子と中学生女子

内容：生理について／他者との適切な関わり方（異性）

2) 児童担当指導員による性教育

日時：卒園までに随時 対象：高3生男女(個別)

内容：『巣立ちのための60のヒント』の性に関するページに準じた内容
性器（包茎など）／避妊／出産・子育て（費用）／性感染症

3) 日常生活の中での性教育

①入浴時には洗い残しが無いか、外遊び後には汗を拭いて着替えをするなど自身の身体を清潔に保てるような声かけ

②人前で性器を触る、性器のことでふざけて盛り上がる児童に対してプライベートパーツのルールを伝え、自身の身体を大切にしてみんなが安心安全に暮らせるような声かけ

③同性異性問わず距離が近すぎる時には他者との境界線を意識できるような声かけ等をその場に居合わせた職員が随時行った

4) 会議実施状況

5月 年度予定の確認

6月 子どもの性的な課題の共有、性教育実施内容の検討

7月 性教育実施内容の検討

9月 性教育実施後の振り返り、高校生の性教育について検討

(6) アドミッションケアの実施

- ・自立支援計画作成の際に全児童に意向の聞き取りを実施し、今年一年施設で暮らす上で目標の作成・共有
- ・全児童を対象に意見を表明する権利について説明、および相談方法の紹介

(効果)

不満等を抱えていても、意見を表明できることや相談先があると教えたことにより気持ちが落ち着いたように見受けられた。しかし時間が経過すると相談先があること・冊子を持っていることを忘れてしまう、処分してしまうといった課題が残ったため定期的に説明する必要がある

・新たな権利ノート作成

→次年度の配布に向け、文言の見直しを実施

(7) ライフストーリーワーク (LSW) の実践

1) セッション型ライフストーリーワークの実施

・こども家庭センター職員主導のもと、以下の児童に LSW を実施した。

①小6 女児 家庭状況および兄弟の近況について告知

②6 歳男児 家族関係の説明

③5 歳男児 家族関係の説明

(効果)

いずれの児童も家族関係が整理されたことで混乱なく家族交流を行うことができた。また家族の近況を知ることで情緒面の安定に繋がったと思われる。

2) 日常生活の中でのライフストーリーワーク

①各担当指導員で行事や日々の日常など季節ごとに撮りためた写真を選択、現像し、児童は担当指導員とともにアルバムを制作。

・これまでは児童自身で写真選択を行っていたが、今年度後期より写真選択は各担当指導員が行うこととした (SNS やインターネットの普及により、児童の個人情報の保護が難しくなったため。児童自身で写真を選びたいとの申し出があった際には、担当指導員とともに写真選択を行う)

・3 か月ごとに写真を選択する機会がある。

・現像した写真は各担当指導員から児童に手渡すことにしており、過去の出来事をともに振り返る機会を作っている。

・主に幼児や低学年児のアルバムには、担当指導員からメッセージを書き込んでいる。

②各フロアでの写真展示

・2 階、3 階ともに廊下に季節ごとの写真を展示し、児童間で思い出が共有できるようにしている。

③年間アルバムの制作

・年度末ごとに、1 年間の写真をまとめたアルバムを制作し、保存している。

・年間アルバムは食堂本棚に配置しており、どの児童もアルバムを読むことができるようになっている。

(8) 心理療法士による治療的養育および専門性の向上

1) 対象児童等に対する心理療法

児童	実施内容
小1男子	計10回のプレイセラピーを実施
小3女子	計13回のプレイセラピーを実施
小4男子	計10回のプレイセラピーを実施
小5女子	計10回のカウンセリングを実施
小5女子	計5回のカウンセリングを実施
中1女子	計3回のカウンセリングを実施
中1男子	計2回のカウンセリングを実施
中2男子	計3回のカウンセリングを実施
高1男子	計3回のカウンセリングを実施
高3女子	計16回のカウンセリングを実施

2) 対象児童等に対する生活場面面接

- ・対象児童へ随時生活場面面接を実施
- ・グループホームまほろばでも週に一度の生活場面面接を実施

3) 施設職員への助言及び指導

- ・自立支援作成時やアセスメントシート作成時
- ・トラブル発生時やアドバイスを求められた際に随時に助言を行った

4) ケース会議への出席

- ・心理療法を実施している児童、小6・中3・高3生および1年以内に家庭復帰が予定されている児童（年5回）

	日程	内容
第1回	4/16～5/12	支援上の課題に関するケース検討 進学・就職・家庭復帰等の方向性の確認
第2回	7/9～7/27	支援上の課題について第一回見直し
第3回	11/2～11/4	支援上の課題について第二回見直し
第4回	1/6～1/15	支援上の課題について第三回見直し
第5回	3/1～3/11	支援上の課題について第四回見直し 次年度に向けてのアセスメント

- ・上記以外の児童（年3回）

第1回	4/16～5/12	支援上の課題に関するケース検討 進学・就職・家庭復帰等の方向性の確認
第2回	9/1～9/9	支援上の課題について第一回見直し
第3回	2/16～2/22	支援上の課題について第二回見直し 次年度に向けてのアセスメント

(9) 職員の専門性の向上

【職員研修】

4	19 制度改革事務担当フォローアップセミナー	1 0	1 フレッシュマン研修 2 実習ワーキンググループ会議 7-8 児童福祉施設施設長研修会
5	7 新任研修 21 スーパーバイズ 23 実習ワーキンググループ会議 24 子どもの権利擁護委員会	1 1	7 給食管理合同研修会 20 アセスメント研修 21 実習ワーキンググループ会議 27-28 全国児童養護施設長研究協議会
6	14 ソーシャルワーキンググループ会議 21 公文研修 23 近畿地区里親研修会 25 トラウマケア研修会 25 実習ワーキンググループ会議 26-27 近畿児童養護施設研究協議会	1 2	6 子どもの権利擁護委員会 17 社会福祉法人研修会 22 日本虐待防止学会 J a s p c a n
7	2 ステップアップ研修 9 スーパーバイズ 11 自立支援策定見直し研修会 19 実習ワーキンググループ会議 29 人事労務セミナー	1	12 兵庫県臨床心理士研修会 15 実習ワーキンググループ会議 22 職員研修 24 キャリアアップ研修 30 公文式導入フォーラム
8	22 実習ワーキンググループ会議 29 ライフストーリーワーク研修	2	3 子どもの権利擁護委員会 20 職員部会他施設見学 21 子どもの発達支援研修
9	4 ステップアップ研修 11 スーパーバイズ 18-20 西日本児童養護施設職員セミナー 25 ソーシャルワーキンググループ会議	3	(新型コロナウイルス感染症の影響により中止)

(10) 地域支援機能の推進

平成 31 年 4 月 14 日 地域祭礼太鼓練習 小学生 10 人
 4 月 20 日 祭り招待 小学生 10 人
 4 月 21 日 地域祭礼太鼓練習 小学生 10 人
 4 月 28 日 地域祭礼太鼓練習 小学生 10 人
 4 月 29 日 地域祭礼参加 30 人
 令和元年 5 月 5 日 交流バーベキュー 30 人
 6 月 29 日 音楽会参加 10 人

8月31日 ふれあい縁日
 12月21日 クリスマス会
 12月27日 散髪ボランティア来園
 令和2年 2月15日 里親サロン 里親、センター職員等、計15人来園

(11) 里親支援

里親支援専門相談員を配置し、月1回程度里親会への出席を行っている。また、島内の里親宅への家庭訪問も実施されている。

4月	26 中央地区支援部会
5月	9 里親支援連絡会 18 中央地区里親総会 31 里親支援部会
6月	7 里親支援連絡会 15 里親交流ボウリング大会 23 近畿地区里親研修会 28 里親支援部会
7月	5 里親支援連絡会・里親支援定例連絡会議 6 認定前研修 17 里親施設見学 19 中央地区里親会
8月	1 里親支援連絡会 3 里親サロン
9月	2 里親連絡会 27 里親支援部会
10月	25 里親支援部会
11月	6 里親支援連絡会 12 里親支援部会
12月	5 里親支援連絡会 20 里親支援部会
2月	里親サロン (学園)

(12) こどもたちの心を育む

1) 買い物体験

普段のお買い物時に、お金の概念や支払い方法が身に付くよう取り組んでいたが、取り組みにばらつきが見られた。社会経験を増やし社会スキル向上を図るため、子どもだけの買い物体験を増やしていきたい。

2) 自転車講習

自転車の乗り方、ルールについて講習。独自の「免許証」を発行

参加者：学園で自転車免許、仮免許を発行されていない児童

女児小学生5名 男児小学生3名。1月より男子幼児1名追加。

場所：学園横の空き地

時間；土曜、日曜、祝日の13:00～15:00で男女別れて1時間ずつで行った。

方法：座学(30分程度)後、練習を行う。練習時間の最後にその日練習した自転車練習カードの実技テストを受ける。自転車カードの項目を全てクリアした後、筆記試験15分を全問正解すると仮免許発行(1～3年生は仮免許まで)。図書館までの道のりを職員と一緒に自転車で走行し(4年生以上の児童のみ)、免許発行となる。

報告：本免許3名、仮免許3名、次年度持越し3名

- ・座学を学ぶことで、園外での自転車使用時の交通ルールについて学び、筆記試験を行うことで理解度を深める事が出来た。
- ・小学6年から次年度1年生の未就学児まで幅広い年齢であったが、実技の段階を分ける事でそれぞれに合った練習を同時に行うことができた。
- ・今年度は、初めて自転車をのる児童2名が自転車に乗れるようになった。
- ・次年度以降、津名図書館が移動になるため、新しい自転車ルートを作成と、本免許所持者への周知が必要。

3) 園内係

①CD・DVD係

CD：年度末にCDを整理し、新しいCDやケースを整理して食堂に置いた。行事で使用したCDを貸出することで最近の音楽にふれるきっかけ作りを目的とする。またCDを返却していない児童がいたため、貸し出し簿を変更する。借りた時間・返却時間を必ず記入しCDの貸し出しは一日とする。

DVD：枚数が増えた為、表紙のみファイリングし食堂に置き、ディスク本体は事務所にて管理する。

②図書係

- 1週間に1回、担当者が貸し出し表の確認、本棚の整理をすること、責任を持って最後までやり遂げることができる子どもが係として活動してほしいことを話し、自ら立候補した子どもで図書係の活動を5月より開始する。
 - 5月～9月 小学生男子3名、中学生男子1名、計4名が係として実施。
 - 10月～3月 小学生女子5名が係として実施。
 - 12月 職員で本の整理。本棚毎に色分けと番号をつける。
本の返却期限を過ぎる子どもが多く、貸出表の改善を行う。借りる時に返却期限を記入することで、返却する日にちを意識してもらう。
 - 3月 係の活動内容の改善。担当の色と担当の曜日を定める。担当の曜日には必ず、全体を整理すること、担当の色は、普段から意識して片付けをすることを決めて実施する。
- ※今までは1週間に1回、担当の日に子どもが本棚の整理や貸し出し表の確認をしていたが、曜日と色分け決めたことで、職員の声掛けがなくても率先して片付けることも出来ており、お互いに声掛けしている姿が見られた。
- ※色分けや曜日の担当を決めたことで子どもも職員も管理しやすくなった。
- ※貸出表の改善で返却日を意識しやすく、返却日を過ぎる子どもが減った。

4) 園内クラブ

①フットサル

- ・2/22(土) 室内施設を利用し、他施設との交流試合を実施。
中学生6名 高校生 5名 計11名
 - ・3月 新型コロナウイルス流行の為、実施していない。
- ※冬季を予定していた園内クラブ(フットサル)であったが新型コロナウイルス流行の

為、1回しか実施できなかつた。また、中高生のみの実施で小学生は実施なし。他施設との試合は試合だけでなく、交流も深めることができた。来年度も交流試合を実施予定。実施回数や時期については要検討していく。

②水泳

第2温水プールにて実施

日時	人数	内容
7/22. 26 8/5. 21. 2 3 (テスト) 計5回	低学年 小学生女子 2名	水に顔をつけること、15メートルをバタ足で泳げるようになりたいとのことで練習を実施する。鼻で息を吐き続けること、顔をつけても怖くないよう子どもの手を繋いで一緒に潜ったり、バタ足の蹴り方やクロールの手の回し方を指導。5回目の練習日には、初日バタ足だけで5メートルしか行けなかつた子どもが、息無しクロールで10メートル行くことができ、顔をつけることができなかつた子どもは、10秒潜ることができ、またバタ足の練習をしてバタ足で3メートル泳ぐことができた。早い段階で目標達成することができており、目標以上泳げるようになっていた。
7/25. 31 8/7. 22. 2 6 (テスト) 計5回	全学年 小学生男子 4名	10秒潜りたい、バタ足で15メートル泳げるようになりたい、平泳ぎや背泳ぎで25メートル泳げるようになりたいとのことで練習を実施する。1回目の練習日に自分の目標を達成していたのが1名おり、潜れなかつた子が10秒潜ることができていた。バタ足の蹴り方や背泳ぎ、平泳ぎの足の蹴り方、手の掻き方を指導。苦戦していたが、繰り返し練習を行い、できるようになっていた。5回目の練習日には全員が目標以上泳げるようになった。
7/22. 26. 8/2. 21. 2 3 (テスト) 計5回	中高学年 小学生女子 2名	クロールや平泳ぎが泳げるようになりたいとのことで練習を実施する。クラブ活動があるため全員での練習時間がとれなく、練習回数が様々違っていたが、少ない練習回数で泳げるようになっていた。
7/24. 29 8/1. 21. 2 3 (テスト) 計5回	高学年 小学生女子 4名	平泳ぎを上手に泳ぎたい、クロール100メートル泳げるようになりたい、背泳ぎ、バタフライ25メートル泳げるようになりたいとのことで練習を実施。一回目の練習で目標を達成したのが1名いた。平泳ぎは、足の蹴り方に苦戦していたが三回目の練習日にはできるようになっていた。背泳ぎでは、上向きに浮くことに初めは苦戦していたが、コツを掴むとすぐに浮くことができるようになっていた。バタフライは足の蹴り方や手の掻き方と、手足のタイミングを合わせることに苦戦しており、繰り返し練習を行いできるようになっていた。5回目の練習日には全員が目標以上泳げるようになった。1名は4種目泳げるようになっていた。高学年になると泳げる種目が増え、自由時間にも自主練習に取り組んでいる子がいた。
7/31. 8/21. 28 計3回	年中年長 幼児3名	職員2名体制で、体調面を考慮し一回の入水は40分以内、水慣れとして実施する。両腕には浮き輪をつけて入水する。水の中を横歩きや、かけっこなどをしてプール遊びを楽しむ。広いプールに喜んでおり、楽しんでいる姿が見られた。

③クッキング

部員：小学生4名・中学生3名・高校生1名

- ・6/30 勉強会：マナーについて／調理自習：フルーチェ（夕食のデザート）
- ・8/24 勉強会：包丁の名称・野菜の切り方／調理自習：野菜を切る
- ・10/25 スイートポテト作り（福祉祭りにて販売）
- ・10/19 勉強会：保存・冷蔵庫冷凍庫の分別の仕方
- ・1/19 調理実習：ラスク作り
（福祉祭りの売上金でお菓子作りを行い、学園児童のおやつに充てる）

- ・3/26 まとめテスト実施

<子どもの様子>

- ・勉強会、実習など全てにおいて積極的な取り組みが見られた。また、他者へ提供し「ありがとう」や「美味しい」との反応に喜びを感じていた。
- ・「こうした方が美味しいinchょう」や、「この切り方難しい」などと様々な意見を出し合い、失敗もありながらも料理の楽しさを学んでいた。また、年上が年下にやりやすい方法を伝授したり、最後形を整える作業を年上がしたりしており、他児との関わり方についてもしっかりと学んでいた。
- ・自立に向けての知識を学ぶ良い機会になっていた。

(13) 施設のリスクマネジメント

1) 防災訓練

訓練日時	訓練種別	内容
4/23	避難訓練	調理室から火災発生を想定
7/6	職員救急法講習会	心肺蘇生法
5/28	避難訓練	隣家より火災発生を想定
6/25	避難訓練	集中豪雨による水害を想定
7/16	避難訓練	女子居室より火災発生を想定
9/3	避難訓練	調理室から火災発生を想定
10/8	避難訓練	夜間、多目的室より火災発生を想定
10/29	避難訓練	3階リネン室から出火を想定
11/26	消火訓練・避難訓練	調理室から火災発生を想定
12/27	消火訓練・避難訓練	男子居室より火災発生を想定 ハウス防火設備により消火訓練を実施
1/28	避難訓練	地震発生を想定
2/26	総合訓練	2階洗面所から火災発生を想定
3/31	避難訓練	地震発生を想定

ヒヤリハット

日付	場所	児童	状況
4/12	小学校通学路	小学生	入所間もない児童が下校時に道を間違い迷子になる
4/19	食堂	高校生	職員が他児の薬を間違えて渡し、本児が服用する
6/3	幼児居室	幼児	発泡スチロールを口に入れる
7/11	幼児居室	幼児	画用紙を口に入れる
7/20	食堂	幼児	扉を開けた際、腕が挟まる
7/20	食堂前	小学生	コンセントに引っ掛かり断線する
7/21	海水浴場	小学生	浮き輪からすり抜け溺れる
7/30	2階居室	中学生	無断外出する
8/10	食堂	高校生	無断外出する
9/1	パラナグア公園	小学生	蜂に刺される
10/15	幼児居室前	幼児	出会い頭にぶつかる
11/18	食堂	幼児	椅子の角にぶつかる
12/3	食堂	幼児	椅子から滑り落ちる
12/15	パラナグア公園	幼児	海面を覗き込んだ際、海に落ちる
12/24	食堂	幼児	テレビ台に顔をぶつける
1/12	パラナグア公園	小学生	滑り台から飛び降り、他児と接触する

(14) 職員メンタルヘルスケア

- ・ 副主任制度の実施：
処遇職員の副主任を5名体制にする。
- ・ 施設長代理及び臨床心理士によるメンタルヘルスケア実施

【行事】

月	園内	学校	兵庫県児童養護連絡協議会
4	11 全体会 27 職員会	9 始業式・入学式 19 授業参観 (小) 24 (中) 24 家庭訪問 (小)	

5	12 全体会	14 参観日（支援） 15-17 修学旅行（中） 22 親子遠足（幼稚園） 25 運動会（小）	12 就職フェア
6	3 職員会 24 全体会	7 給食参観（小） 8 幼稚園保育参観	9 フットサル大会
7	6 実習生リエンテーション 16 全体会 22 学園海水浴	2 期末テスト（高） 19 終業式（小・中） 22-23 お泊り保育（幼） 25 体験入学（支援） 27AO入試（専門学校）	
8	11-12 お盆レク 16 職員会 31 ふれあい縁日	2 職場実習	20.21 近畿フットサル
9	5 全体会 22 職員会	2 始業式 4 人権サークル 7 体育大会（中） 8 サッカー大会（支援） 21 ふれあい参観（小） 19 体育祭 28 体育祭（支援）	
10	3 全体会 23 インフルエンザ 予防接種 22 職員会	2-3 修学旅行（小） 14 運動会（幼） 7-11 自然学校（小） 30 文化祭（中）	13 バレーボール大会
11	7 全体会 20 職員会	6 文化発表会（中） 発表会（支援） 15 生活総合全国大会（小）	6 オレンジカップ（職員）
12	4 全体会 19 全体会 21 クリスマス会	7 幼稚園発表会 24 終業式	
1	1 初日の出 3 外出レク 9 全体会 21 職員会	8 始業式 22 発表会・人権参観（小）	12 みんなの文化祭
2	5 職員会 13 施設監査 20 法人監査 27 全体会	6 防災発表（小）7 説明会（小） 17 公立高校推薦入試 15 幼稚園参観日 25 卒業式 28 発表会（小） 28 卒業式 29 卒業式	1 ドッジボール大会
3	14 卒園式	2 卒業式（支援） 17 卒業式（中） 19 卒園式、卒業式（小） 24 終業式	